

東京農業大学と

包括連携協定を締結

アルビオンは、東京農業大学と新規有用性植物の探索・分析・解析や肌への効能研究、化粧品関連産業における応用・実用化に向けて包括連携協定を締結した。

同社は、2013年4月に東京農業大学生物産業学部との連携協定を締結し、同年11月に寄附講座「企業と学芸化粧品」を開設。同講座を通じて連携・共同研究を進めながら、2014年には初の海外研究拠点となるスリランカ伝統植物研究所を共同開設した。その後も寄附講座とスリランカ伝統植物研究所を中心に共同研究と交流を深めてきた。

両者は、近年のこの順



アポロトレーディング株式会社
代表取締役社長

山本 晃久 氏



社長は調印式において「この連携を通して、今まで以上に絆を深めながら、共同研究の拡大につなげていく。また実用化されていない全く新しい化粧品成分や商品開発を目指すとともに、国内外で活躍する人材の育成にも注力し、大学のため、学生のため、アルビオンのためになる有益な取り組みを積極的に進めていく」と挨拶した。

ライオン

2019年度は19万本超の
使用済みハブラシを回収

ライオンは、使用済みハブラシを回収してリサイクルするプログラムを実施し、2019年度(2018年10月から2019年9月)の1年間で、19万491本のハブラシを回収しリサイクルしたことを発表した。



同社は、2015年よりテラサイクルジャパン合同会社と提携し、使用済みハブラシを回収し、熱溶解の後、再生プラスチックとしてフランチー等によりリサイクルしている。同プログラムでは、参加希望者が個人・学校・団体などの単位で事前に「ハブラシ回収プログラム」ホームページから参加登録し、回収ボックスなどを設置してハブラシを集めてフランチー等によりリサイクルしている。同プログラムでは、参加希望者が個人・学校・団体などの単位で事前に「ハブラシ回収プログラム」ホームページから参加登録し、回収ボックスなどを設置してハブラシを集めて

オルディ

北海道トドマツの
消臭ごみ袋を共同開発

エステーは、「クリアフォレスト」ブランドの「機能性樹木抽出成分」がごみ袋などの日用品や業務用資材を手掛けるオルディのごみ袋に採用され、「北海道トドマツの消臭ごみ袋」を商品名とする新しいごみ袋を共同で開発した。



中国製は粗悪品だらけというイメージはもはや捨てた方がいいかもしれない。総合フィリターメーカーのアポロトレーディングが中国で開発・製造しているフィリター製品は、世界を代表する自動車や家電など様々な製品に採用されている。同社の山本晃久社長は、総合商社時代に駐在した中国での経験・実績を活かして1995年に貿易商社として現地で起業した。急速な経済成長を続ける中国で、エアコンなど電化製品に使用するフィリター市場に目をつけてメーカー事業をスタートし、商社とメーカーの2つの機能を持つ企業に成長を続けている。

二足のわらじで日中ビジネスの架け橋に

そのメーカーとの関係深耕がターニングポイントとなった。中国大手の家電メーカーから「低価格かつ高品質なフィルターの要望を受けて2000年、広東省にエアフィルター工場を設立。07年には安徽省にも生産拠点を設けた。価格競争ではなく、付加価値や提案力で勝負する製品を目標として研究開発に注力し、これまでに取得した特許件数は100件以上にのぼる。近年は中国国内でP

ORDiY x ClearForest



今回の「北海道トドマツの消臭ごみ袋」は、消臭効果のある「針葉粉体(天然針葉パウダー)」をごみ袋に配合することで、森の香りで生ごみなどのニオイを消臭するという。10月28日よりオルディから一般消費者向けに発売している。

(禁無断転載) ©R

本紙の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、堅く禁じられています。本紙からの複写を希望される場合は、出版者著作権管理機構(JCOPY)(03-3513-6969)まで必ずご連絡下さい。